

【好評により再開催！】

Microsoft 365が実現する 最新デジタルワークプレイスとは？

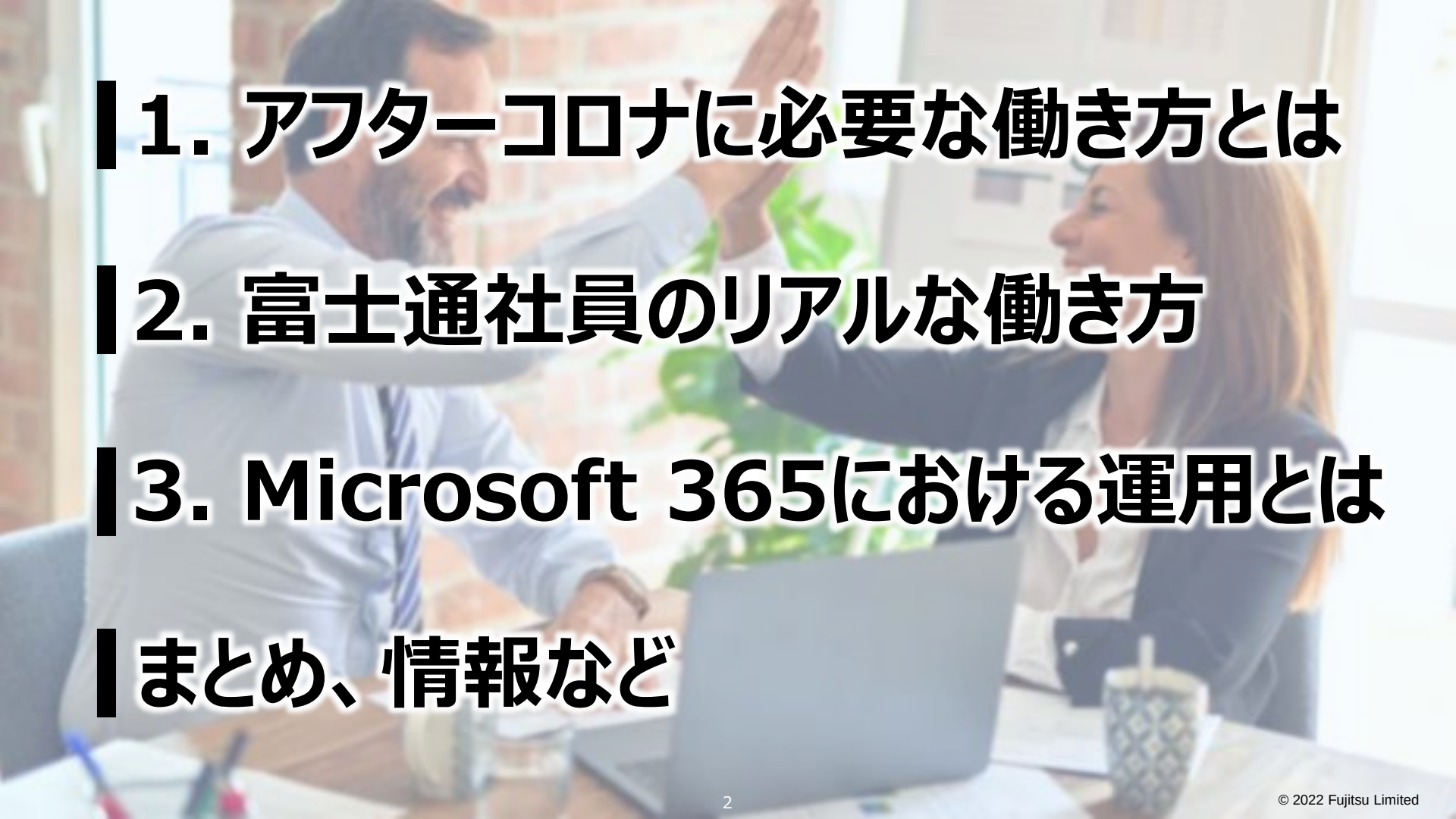
～多様な働き方のためのコミュニケーション活用術と
実践事例をご紹介します～

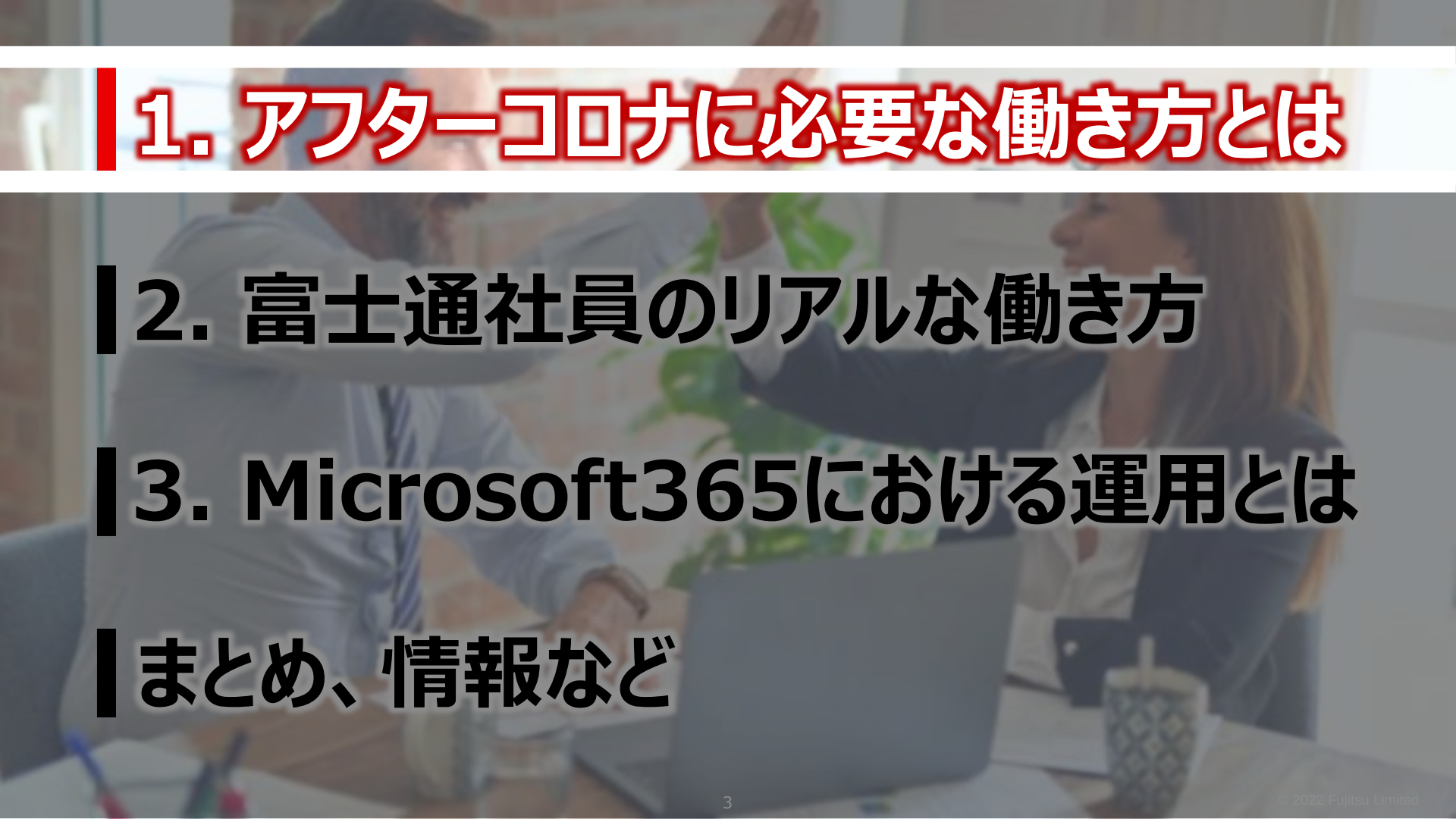
2022年8月30日

富士通株式会社

FUJITSU



- 
- 1. アフターコロナに必要な働き方とは
 - 2. 富士通社員のリアルな働き方
 - 3. Microsoft 365における運用とは
 - まとめ、情報など



1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft365における運用とは

まとめ、情報など

コロナがもたらしたものは

幸福な働き方

多様性



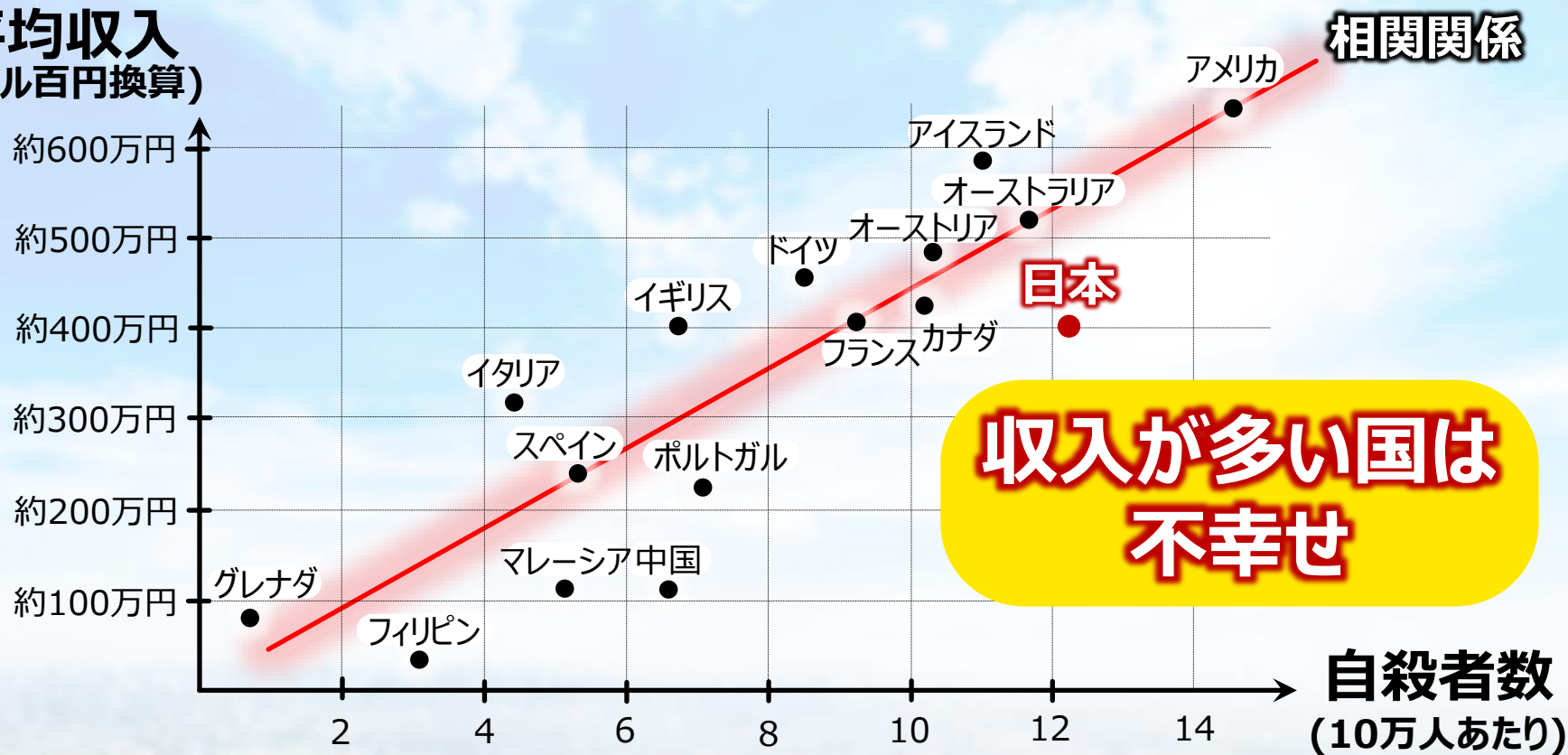
幸福な働き方

多様性



幸福と収入の相関関係

平均収入
(1ドル百円換算)





なぜ**幸福**になれないのか

幸福な働き方

多様性



多様性とは何か



人の成長に多様化は必須

体験

脳

やること

人とは違う**インプット**ができることこそが人としての成長に繋がり、
そこに企業が多様化を促進する本質的な理由がある

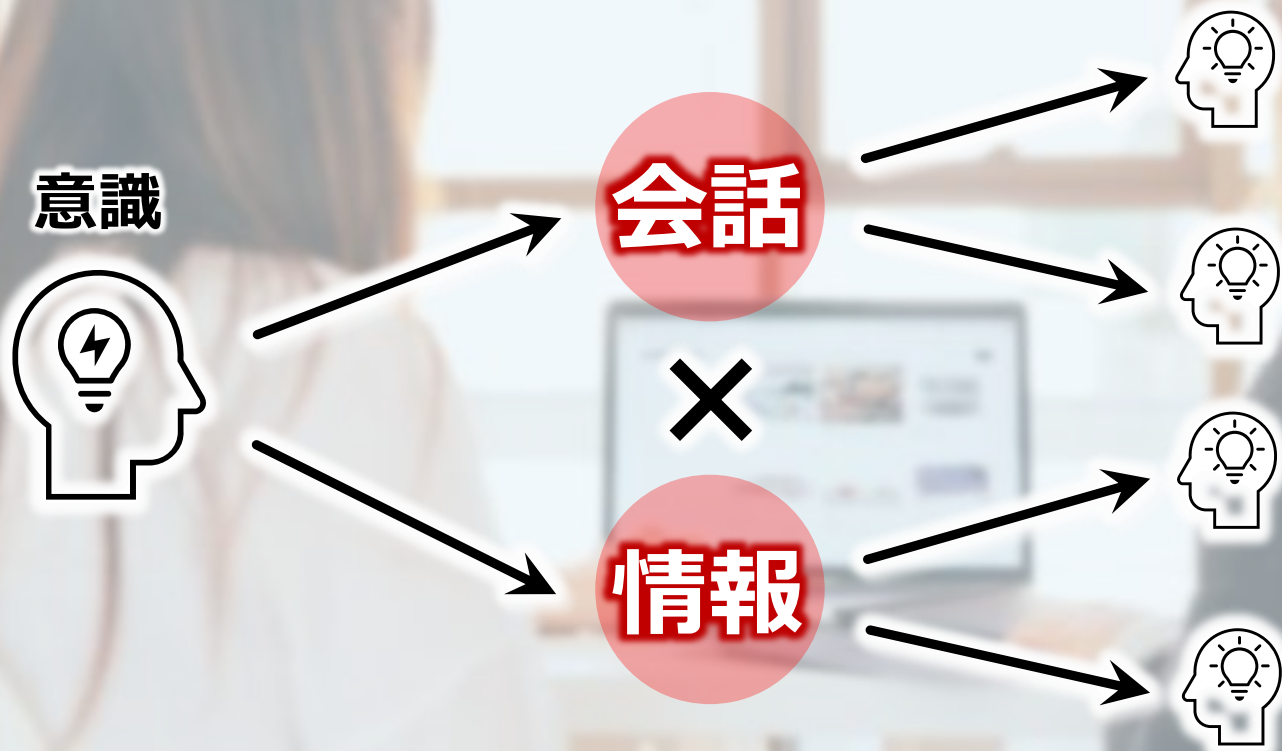
幸福な働き方

多様性



テレワークなどにより
どこでも働ける環境を構築することが必要

これからの時代のコミュニケーション



離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、**連絡が取れる環境**

物理的だけでなく、仮想的にも**集まれる空間**(コミュニティ)

離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、連絡が取れる環境
物理的だけでなく、仮想的にも集まれる空間(コミュニティ)

情報

作成物を滞りなく受け渡し、**提供できる環境**
格納したデータに対するアクセスを厳格にした**セキュアな環境**

離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、連絡が取れる環境
物理的だけでなく、仮想的にも集まれる空間(コミュニティ)

情報

作成物を滞りなく受け渡し、提供できる環境
格納したデータに対するアクセスを厳格にしたセキュアな環境

新しい働き方に対応した
コミュニケーションの実現が必要

1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft 365における運用とは

まとめ、情報など

富士通社員の リアルな働き方 ～Microsoft 365 フル活用のすすめ～

2022年8月30日

富士通株式会社

オファリング第二ビジネス部



新しい働き方

2022年1月28日現在

FUJITSU



オフィス



自宅

テレワーク継続率平均**80%**



シェアードオフィス

約**9,000**名/月



遠隔勤務

約**1,700**名

ワーケーション

@大分 @和歌山

副業

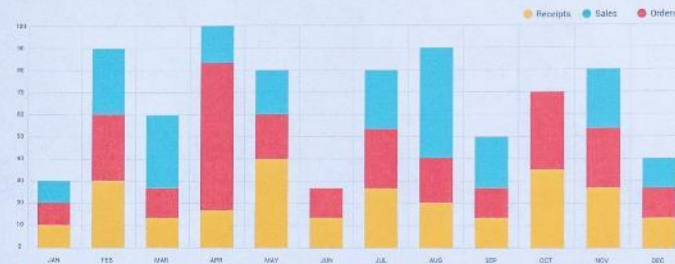


育児

介護

どの働き方でも
同じように
成果を出す

Our company



Business items



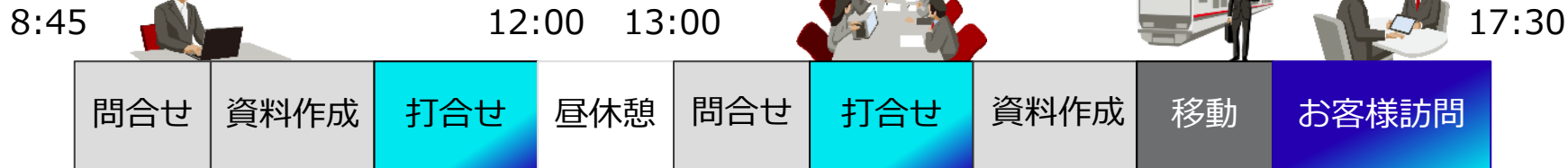
**①みな平等にコミュニケーションが取れる
環境を用意すること**

②みながその環境を使いこなすこと

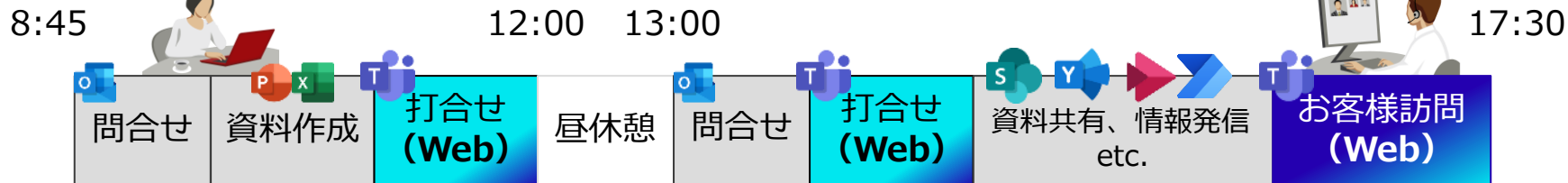
在宅テレワークをベースとしたハイブリッドワークを推奨

私のある日の働き方

オフィス



在宅テレワーク



Microsoft 365でオフィスと変わらない働き方を

業務報告（1週間1スレッド）



投影のみ

チーム作業（双方向のやり取り）



投影のみ

Case.1 コミュニケーション③

資料のレビュー（遠慮しない）



投影のみ



社内報



コミュニティ

投影のみ



動画配信



ワークフロー

投影のみ

多要素認証



モバイルデバイス管理



文書保護



投影のみ

**①みな平等にコミュニケーションが取れる
環境を用意すること**

②みながその環境を使いこなすこと

- ❑ メールサーバの入れ替えだったので、正直そこまでは…
- ❑ 入れたは良いものの、実はあまり使われていないんです…
- ❑ セキュリティの機能もあるんですね…

「使いこなす」ヒントは
3章へ

1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft 365における運用とは

まとめ、情報など

Microsoft 365における 運用とは

2022年8月30日

富士通株式会社

コミュニケーションビジネス部

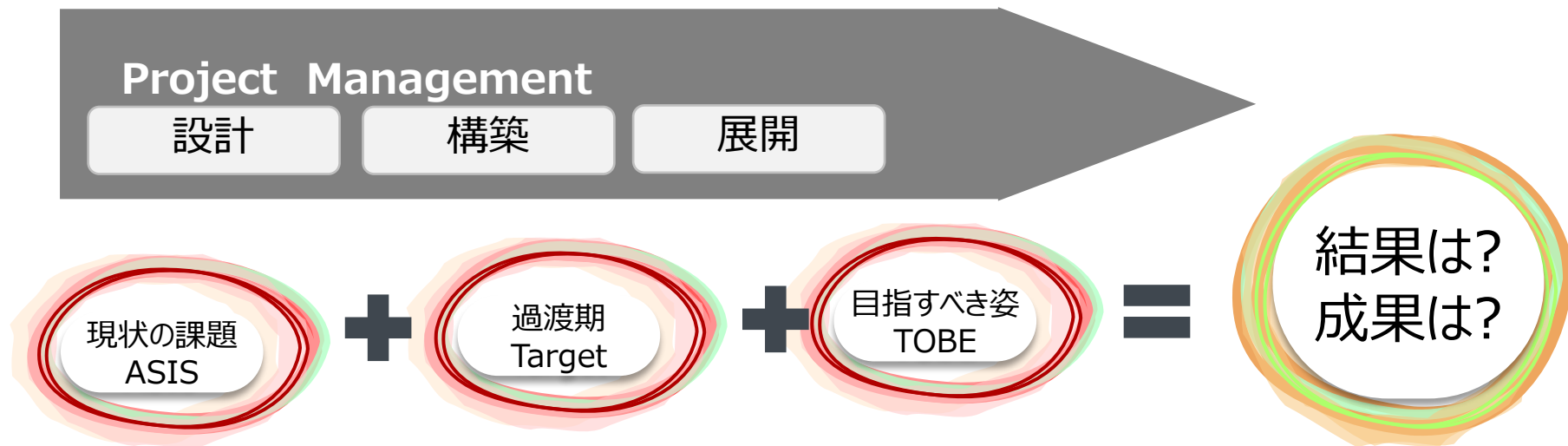
二谷大介





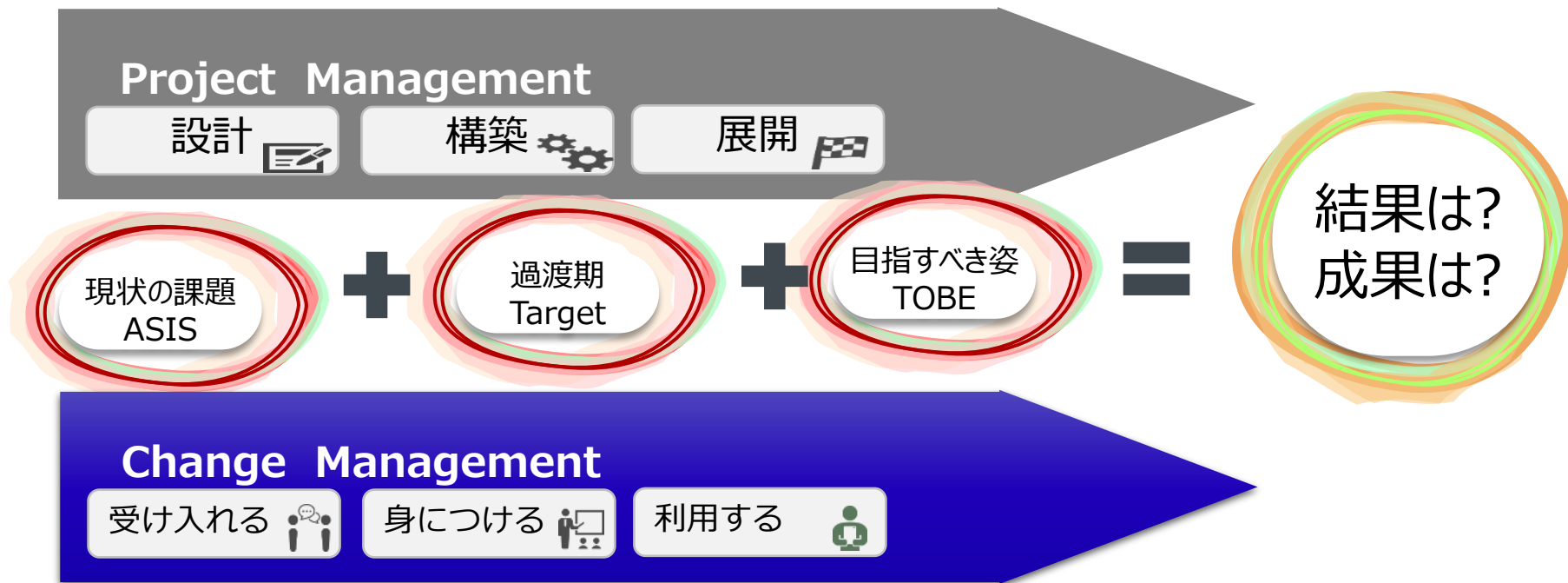
Microsoft 365の利活用、利用拡大は順調に進んでいますか？

これまでの『システム導入』プロジェクト



期限切れがトリガーとなり
現行環境の『更新』を目標とし、システムリリースがゴール

これからの『システム公開』プロジェクト



行動やトレンドの変化がトリガー

『新たな働きかへの適用』を目標とし、ユーザへの定着がゴール

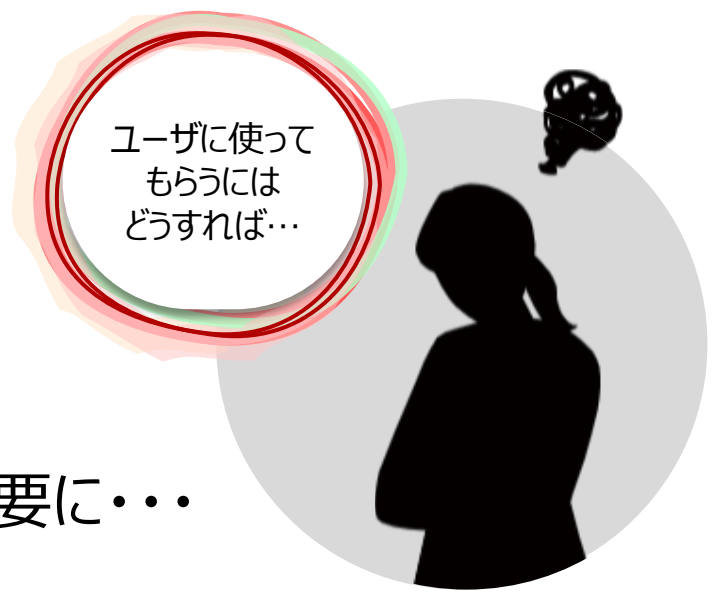
“どうやって使ってもらうか？”を考えることは

これからの**IT部門の業務の中心**に

更に“使える”ではなく、

必要となる機能を選別し

“使いこなす”ことが重要に…



ユーザに使って
もらうには
どうすれば…

Microsoft 365で実現できること



従来の機能であり、一般的によく使われるメインのツール群

コミュニケーション基盤

	チームコラボレーション –Teams–
	ビジネスメール –Exchange Online–
	ファイル共有/情報共有 –SharePoint Online–
	社内SNS –Yammer–

OS/Office

	PC・タブレットOS –Windows10 License–
	Office (クライアント) –Apps for Enterprise–
	Office (Webブラウザ) –Office Online(旧称)–
	ビジネスメール –Outlook–
	個人ファイル共有 –OneDrive for Business–



比較的新しい機能であり、一般的にまだまだ活用が進んでいないツール群

業務効率化ツール

	タスク管理 –Planner–
	社内ストリーミング配信 –Stream–
	アンケート –Forms–
	アプリ開発 –Power Apps–
	AI/Bot開発 –Power Virtual Agent–
	自動ワークフロー開発 –Power Automate–
	データ分析 –Power BI–

セキュリティツール

	ID保護・アクセス管理 –Azure Active Directory–
	侵害阻止 –Azure Sentinel– –Microsoft 365 Defender– – Azure Defender–
	アプリ・リソース保護 –Azure Security Center– –Azure Defender– –Microsoft Cloud App Security– –GitHub–
	機密データ保護・ガバナンス –Microsoft Information Protection– –Azure Information Protection–
	リスク特定・修復 –Insider リスク ポリシー– –コミュニケーションコンプライアンスポリシー– –情報バリアポリシー– –Customer Lockbox– –特権アクセス管理– –コンプライアンスセンター–
	シンプルなコンプライアンス管理 –コンプライアンスマネージャー– –Advanced eDiscovery–

Microsoft 365は、継続的に新機能の追加や、機能アップデートがされており、購入したライセンスに応じた様々なツールを利用することができます。

Microsoft 365ツールをどれだけ使いこなしているでしょうか？

【ご参考】お客様での移行パス

Microsoft 365 E5 の各機能を活用し、新たなインフラを構築したケース

移行前	移行先	考え方
メール (WebMailサービス)	Exchange Online	基本製品で置き換え
ビジネスチャット(LINE WORKS)	Teams	Teamsに統合し、LINE WORKSを解約
Web会議(WebEx, Zoom)	Teams	Teamsに統合し、他製品は解約
会議室・設備予約(グループウェア)	Exchange Online	基本機能で置き換え。今後会議室の入退室管理を導入予定
承認ワークフロー(グループウェア)	Power Apps + Power Automate	簡易WFはすべてPower Toolに置き換え
e-Learning(パッケージ製品)	PowerApps + Stream + Forms	パッケージは廃止し、業務効率化ツールの組み合わせで実現
全社ポータル(グループウェア)	SharePoint Online	基本機能で置き換える
行き先管理(グループウェア)	SharePoint Online + アドインツール	基本機能と最低限のアドインとの組み合わせ
掲示板(グループウェア)	Teams + OneNote	TeamsとOneNoteの仕組みに置き換え
ドキュメントライブラリ(グループウェア)	SharePoint Online	基本機能で置き換える
タスク進捗管理(パッケージ製品)	Planner	業務効率化ツールに業務を置き換える
アンケート(パッケージ製品)	Forms	業務効率化ツールに業務を置き換える
ドキュメント保護(暗号化製品)	Azure Information Protection	AIPの機能に機能を置き換えて実現
ウイルス対策(パッケージ製品)	Defender for End Point / Defender for O365	ウイルス対策をMicrosoft製品に統合し、パッケージを廃し
モバイル接続(パッケージ製品)	Intune + Azure ActiveDirectory	Microsoft製品に統合し、パッケージを廃し
メールアーカイブ(メール付帯サービス)	Exchange Online Archiving	基本機能に置き換え

- 従来の監視、オペレーションといった運用作業以外に**利活用促進が重要**
- クラウド製品では、**常に機能の進化**が行われている。これと並行して、**現状の把握・可視化が必要**。
- 機能説明の教育だけではユーザの利用は進まない。**ユーザに使いわせるために何をするのか**を、同じ目線で検討。



Microsoft 365運用サービスの一例

利活用促進に必要となる情報提供を中心に、継続的な活用を支援させていただきます。

窓口 (Concierge)



Reporting

利用状況の可視化



M365の利用状況をダッシュボードを利用して定期的にモニタリングします。

備考

ダッシュボード利用にはPower BIライセンスが必要です。

アップデート情報報告

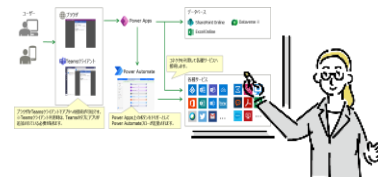


M365アップデート情報について情報提供を実施します。

備考

M365ご契約ライセンス数によって見積を実施します。

利用促進Tips提供



お客様のお持ちのライセンス等で、さらなる利活用を促進する方法や手段をTipsとして提供

備考

各種ツール類の有償作業を含め改善提案で支援いたします。

「Microsoft 365の有効活用支援」には様々な方法があります！

お悩み①

エンドユーザーにM365をもっと使ってほしいと考えているお客様には・・・



お悩み②

ライセンスに含まれている機能をフルに使いたいと考えているお客様には・・・



お悩み③

M365の機能を使って、もっと業務効率化させたいと考えているお客様には・・・



【ご参考】利活用促進サービス全体像

- 利活用促進サービスの全体像は下記の通りです。



利活用推進パック～M365～

期間限定 体験セッション実施中

- 利活用推進パックは、利用しているコミュニケーション・コラボレーションツールの利用を促進し、生産性を高めたいお客様に最適なパックです。
- お客様の利活用目標の計画を策定し、継続的にモニタリングを行うことで、利用率向上を目指します。

こんなお悩みを
解決できます！

Before

Microsoft365を導入したが利活用状況が見えない・進まない



- ✓ Microsoft365を導入したが、Web会議等特定の機能しか利用されない
- ✓ 導入にフォーカスしてしまったため、具体的な将来の目標が立っていない
- ✓ 導入時にKPIを立てたが、それらを測れておらず、達成状況がわからない
- ✓ 利活用状況が見えない為、利用率を向上させる施策の検討ができない



After

利活用状況を把握し、利用率向上の施策を打つことが可能



- Microsoft365の様々な機能を利用し業務を効率化、生産性向上
- 将来の目標を明確化し、導入効果をデジタルに確認可能
- 継続的なモニタリングにより、状況に合わせた最適な施策を実施

利活用推進パックの実施内容



留意事項

- Microsoft365等の環境構築はサービスに含まれません。
- 既にMicrosoft365の基本的な機能（Exchange Online, SharePoint Online, Microsoft Teams）が導入されていることが前提です。
- ローコード開発はオプションです。

利活用推進パック 体験版 先着10社限定 FUJITSU

- 体験版ご希望のお客様は弊社窓口にお問い合わせください。

CMPプランニング（体験版）のセッション内容

CMPプランニング（体験版）では、2時間×1回のセッションで
下記の内容について情報提供およびディスカッションを実施します。
その他にも、お客様が現在抱えているMicrosoft 365関連のお悩みについてもヒアリングさせていただきます。

教育計画

【実施内容】

- 効果的な教育の考え方
- 教育媒体の紹介
- 弊社教育事例紹介



推進体制

【実施内容】

- 新しいツールを定着化に導くために必要な推進体制の紹介
- 推進者の選定方法
- 推進者支援内容



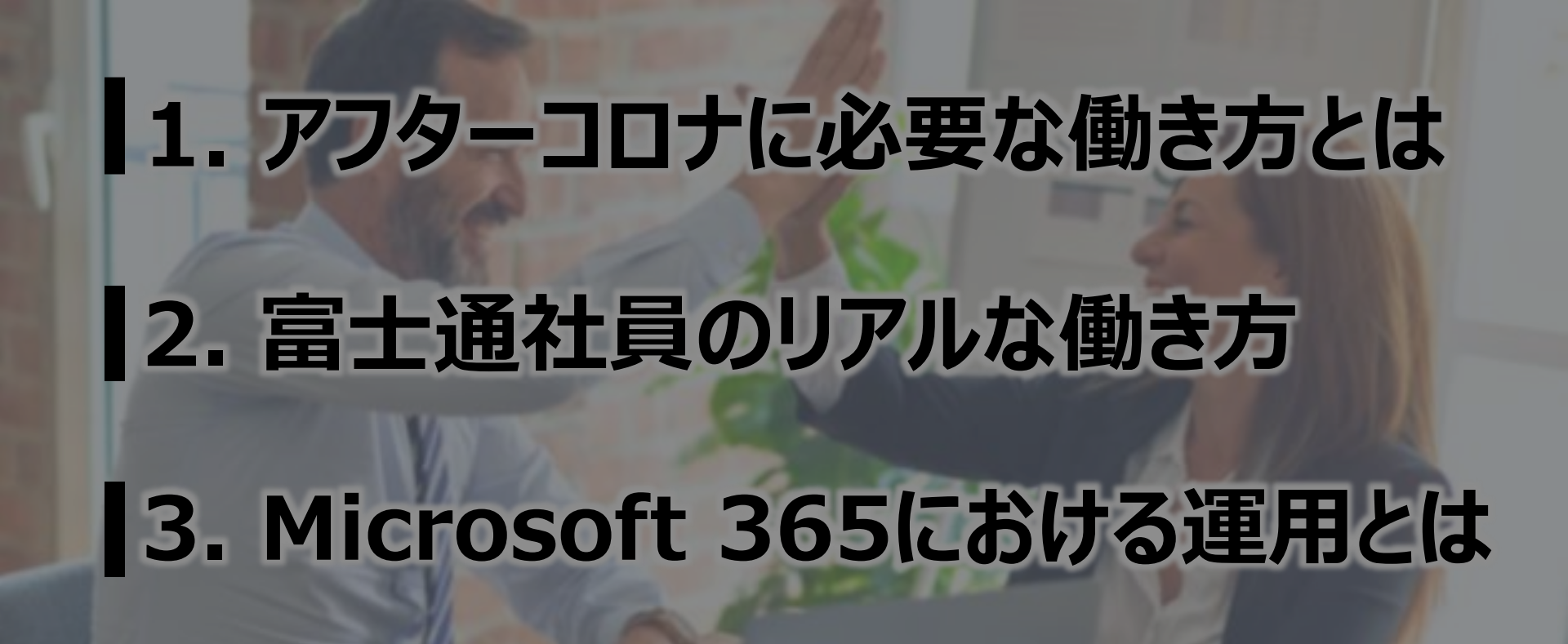
Ready Approach CMP Planning
CMPプランニング（体験版）
Microsoft 365利活用促進をご支援するサービス

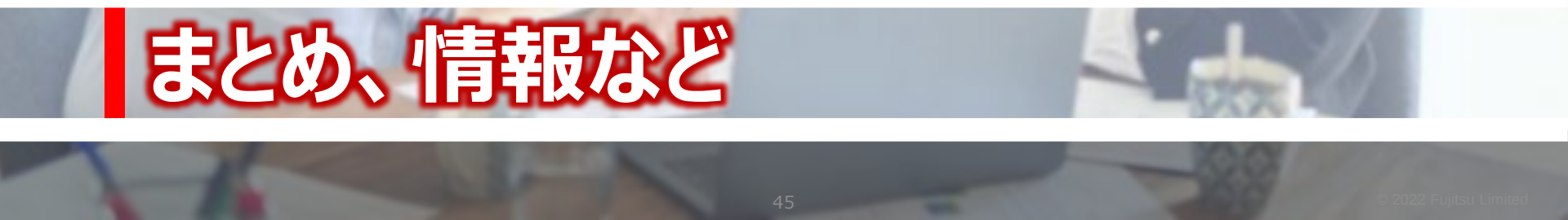
Microsoft 365の利活用はできていますか？
多くのお客様で働き方改革、テレワーク環境の導入が進んでいますが、導入した機能はしっかりと利用できていますか？
いくつかのお客様からは、「導入はしたが、どのように利用すればいいかわからない」といった声が聞かれています。
新しツールを利活用を進めるためには、下記のような様々な内容を総合的に検討していく必要があります。

M365の利活用を進めるためには、上記内容を総合的に検討していくことが重要！

CMPプランニングのフレームワークおよび無償版での体験範囲
CMPプランニングでは、下記フレームワークをもとに、利活用を進めるための計画を策定していきます。
無償体験版では、最初に取り組みやすく効率的な出やすい教育と推進体制にスポットライトを当て、セッションを実施します。

FUJITSU PUBLIC 1 of 2 © 2022 Fujitsu Limited

- 
- 1. アフターコロナに必要な働き方とは
 - 2. 富士通社員のリアルな働き方
 - 3. Microsoft 365における運用とは



まとめ、情報など



**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

より良い働き方を追求し、変化することは必須

**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

より良い働き方を追求し、変化することは必須

**これまでの運用含め改善することにより
新たなコミュニケーションを実現しましょう！**

新情報を盛り込んだセミナーの専用Webを公開



新しい世の中の情報を盛り込んだ
セミナーの専用Webを
新たに立ち上げました。

ぜひこちらから有用セミナーを
ご確認ください。

URLはこちら

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/security/secure/seminar/>

ご相談窓口

contact-fwls_promo@cs.jp.fujitsu.com

アンケート

https://fujitsuvoice.eu.qualtrics.com/jfe/form/SV_cSkI0COTv4eJwqy



～8月30日開催～

【好評により再開催！】

Microsoft 365が実現する最新デジタルワークプレイスとは？

～多様な働き方のためのコミュニケーション活用術と実践事例をご紹介します～

本日はお忙しい中、参加頂き誠にありがとうございました。

お手数ですが、アンケートへのご協力よろしくお願いいたします。

→

Q/Aを受け付けます



Thank you

